

授業科目名	韓国語Ⅰ			担当教員	張 慧珍	
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	30 (1)	
必修選択	選択	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	韓国語文法の基礎を学び、朝鮮半島の現代文化に触れるとともに、簡単な文章を組み立てる能力を養う。					
到達目標	コミュニケーション能力の向上及び韓国文化への理解を深めることができる。 ▶ 「ハングル」の構造について理解できる ▶ 「ハングル」の日本語表記（名前・地名など）ができる ▶ 簡単な挨拶表現ができる					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	英語以外の言語も学ぶことによりグローバルな視点で人間に対する理解力を深めることで本学卒業生に求められる異文化理解力を促す科目である。「自己教育力」「人間の尊厳と権利を擁護するか」を培うことができる。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	○	◎				
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	韓国語について①	講義	ハングルの構造	90分	張	
2	第1課 基本母音と合成母音(1)	講義	カナダラ表 P6～P11	90分	張	
3	第2課 基本子音と合成子音(濃音)	講義	カナダラ表 P12～P17	90分	張	
4	第3課 合成母音(2)とハングル表記表	講義	カナダラ表 P18～P21	90分	張	
5	第4課 パッチム(받침)と発音のコツ	講義	カナダラ表 ハングル表記表 P22～P29	90分	張	
6	第5課 私は～です。① 저는 입니다.	講義	カナダラ表 ハングル表記表 P30～P35	90分	張	
7	第5課 私は～です。② 저는 입니다.	講義	復習－自己紹介 予習－～です。～ます P36(～합니다.形)	90分	張	
8	第6課 時間ありますか。①	講義	復習－～です。～ます P37～P40	90分	張	
9	第6課 時間ありますか。②	講義	予習－位置関係代名詞 P41～P42	90分	張	
10	韓国の文化(Ⅰ)	演習 討議	事前学習として (韓国語の挨拶韓国の文化遺産について) －PCとプロジェクト	40分 50分	張	

11	韓国の文化（Ⅱ）	演習 発表	PCとプロジェクト（DVD）	90分	張
12	第7課 それは何ですか。①	講義	予習－指示代名詞 P43～P46	90分	張
13	第7課 それは何ですか。②	講義	便利な敬語表現 P47～P49	90分	張
14	韓国の文化（Ⅱ）	講義	P50	90分	張
15	まとめ	講義	復習－P6～P50	90分	張
先行履修 科目					
テキスト	金順玉・阪堂千津子 著：最新 チャレンジ！ 韓国語。白水社，2014.				
参考文献	民衆書林編集部：NEW ポータブル日韓・韓日辞典，三修社，2003.				
評価方法	授業参加度（20％）・小テスト（20％）・定期試験（60％）				
教員等の 実務経験	大学において長年韓国語教育に携ってきた経験を生かし、実践的な韓国文化及びハングルを 楽しく見につける講義を行います。				
メッセージ	毎回、積極的に講義に臨めるよう心かけましょう。				